

2023年度

神学研究科博士課程（前期課程）  
「論文」提出要領

## 1. 修士論文作成のスケジュール

主指導教員の演習科目を2年間に亘って登録履修し、研究の進捗状況を定期的に報告して適宜、指導を受けること。演習科目においては各自の研究について発表し合い、研究テーマの学問的意義/方法論の適切性/資料の有用性/主要な先行研究の読解/論文本体の論理性/結論の妥当性などに関して討論を重ねていること。

※主指導教員との相談の結果、コースを変更する必要がある場合、新旧両主指導教員の許可を得たうえで、遅くとも論文提出の半年前までに神学部・神学研究科事務室(1階)に届け出ること。

※指導教員を変更する必要がある場合は、「指導教員・副指導教員 変更届」を神学部・神学研究科事務室(1階)へ論文提出の半年前までに提出してください。変更届は神学部・神学研究科事務室で配布しています。

### 【標準研究日程】

年次	学期	内 容	2023 年度日程
1	春	主指導教員の演習科目を登録 (各自の研究テーマに関連した教員を1名選び、主指導教員への就任を依頼)	4月
		「想定題 申請書」兼「指導教員・副指導教員 申請書」を提出 (※主指導教員と相談のうえで修士論文想定題と副指導教員2名を決定し、副指導教員2名から承認を得ること)	4月28日(金)迄
2	春	主指導教員の演習科目を登録 論文を登録 ※登録要領を要確認	4月
		修士論文のアウトラインを作成して主指導教員と副指導教員に提示 (添付ファイルでの送付可) ※アウトラインには「問題設定/方法論と資料/主要な先行研究/章立てと各章の概要/予想される結論」を記入	7月13日(木)迄
		修士論文中間報告会の申込書と発表題の提出締切	7月13日(木)迄
	秋	修士論文中間報告会の報告書の提出締切	9月14日(木)迄
		修士論文中間報告会 (クラーク・チャペル 予定 : 詳細は後日、掲示・DUET等で周知)	9月20日(水)
		修士論文の第一稿を作成して主指導教員と副指導教員に提示し(添付ファイルでの送付可)、指導を受ける	11月17日(金)迄
		指導に従い第一稿を修正 論文提出までに「修士論文の全文データ(提出稿)」を主指導教員へ送付	11月~12月
修士論文想定題変更届 提出締切 修士論文提出締切	12月14日(木)迄		
修士修了総合試験	1月20日(土)		
修士論文(最終確定稿)3部、本文および梗概のMS-Word文書ファイル、製本代の納入済証の提出締切	2月1日(木)迄		

【3年次生以上（2年の在学期間が必要）で、春学期に修士論文を提出する場合】

年次	学期	内容	2023 年度日程
3～	春	主指導教員の演習科目を登録 論文を登録 ※登録要領を要確認	4月
		修士論文のアウトラインを作成して主指導教員と副指導教員に提示 (添付ファイルでの送付可) ※アウトラインには「問題設定／方法論と資料／主要な先行研究／章立てと各章の概要／予想される結論」を記入	4月10日(月)迄
		修士論文の第一稿を作成して主指導教員と副指導教員に提示し(添付ファイルでの送付可)、指導を受ける	5月8日(月)迄
		指導に従い第一稿を修正 論文提出までに「修士論文の全文データ(提出稿)」を主指導教員へ送付	6月
		修士論文想定題変更届 提出締切 修士論文提出締切	6月15日(木)迄
		修士修了総合試験	7月18日(火)
		修士論文(最終確定稿)3部、本文および梗概のMS-Word文書ファイル、 製本代の納入済証の提出締切	8月1日(火)迄

※秋学期に提出する場合は【標準研究日程】を参照すること。

## ■「想定題 申請書」兼「指導教員・副指導教員 申請書」 | 年次生対象

提出締切：4月28日（金） 17時

提出先：神学部・神学研究科事務室（1階）

### 【 注 意 】

- 1.指導教員1名、副指導教員2名の署名をもらうこと。
- 2.副指導教員2名は必ず主指導教員に相談すること。
- 3.黒インクで記入すること。
- 4.副題を付ける場合、「～」ではなく「—」を使用し、前後に付けること。 例：—〇〇の解釈から—

<b>神学研究科博士課程（前期課程） 「論文」想定題 申請書</b> 提出締切：2023年4月28日（金）17時 提出先：神学部・神学研究科事務室（1階）		
神学 専攻 _____ コース _____ 年度 _____ 番 (入学年度) (学生IDの下4桁)		
氏 名		
修士論文想定題：		
特定課題想定題：		
指導教員サイン：		
<small>※修士論文想定題と特定課題想定題は、選択する方いずれか片方のみ記入すること。</small>		
<b>神学研究科博士課程（前期課程）指導教員・副指導教員 申請書</b> 提出締切：2023年4月28日（金）17時 提出先：神学部・神学研究科事務室（1階）		
神学 専攻 _____ コース _____ 年度 _____ 番 (入学年度) (学生IDの下4桁)		
氏 名		
	教 員 名	サ イ ン
指導教員		
副指導教員		
副指導教員		
<small>※副指導教員2名について必ず主指導教員に相談すること。</small> <small>※他学部や学外の先生に依頼する場合は、所属名も付記すること。</small>		

主指導教員の演習科目を2年間に亘って登録履修し、研究の進捗状況を定期的に報告して適宜、指導を受けること。

演習科目においては各自の研究について発表し合い、研究テーマの学問的意義／方法論の適切性／資料の有用性／主要な先行研究の読解／論文本体の論理性／結論の妥当性などに関して討論を重ねること。

## 2. 修士論文提出要領

### ① 提出締切

12月14日(木) 17時(時間厳守)

6月15日(木) 17時(時間厳守) (春学期末修了の場合)

※17時の時点で完成していないもの、不備があるものは一切受け付けません。  
時間に余裕を持って提出してください。

### ② 提出先 神学部・神学研究科事務室(1階)

### ③ 提出すべきものとその部数 ※提出時には学生証を持参してください

・論文/論文梗概/写真(ﾀｲﾌﾟ60mm×ｺﾞｺ50mm) 各3部

上記3点を論文の綴じ方(後項)を参考に1冊に綴じたものを合計3部作成し、提出すること。

・「修士論文」提出チェック表(署名のあるもの) 1部

### ④ 特定の課題について研究の成果をもって修士論文にかえる場合は、主指導教員と大学院教務主任に相談すること。

なお、上記の①～③は「特定の課題についての研究」についても適用されます。

### ⑤ 論文タイトルは想定題と一致していること。(変更する場合は所定の手続をすること、後項を参照)

### ⑥ 用紙・枚数と装丁

(1) パソコンで作成し、A4判の白色上質紙に横書きで片面印刷とする。論文本文及び論文梗概は1ページあたりの文字数は40字×30行で、フォントはMS明朝・日本語文中の外国語表記についてはCenturyまたはTimesNewRomanで、フォントサイズは10.5を使用とし、本文は20～33ページ以内(目次、注、参考文献、附表、図、グラフは枚数に含めない)、論文梗概は1～3ページとする。

※注および参考文献、附表、図、グラフは巻末にまとめること。

※ページ数は本文から付けること。

(2) 論文はレバーファイルで仮綴じする。梗概は本文の前に綴じ、論文のファイル表紙と梗概表紙、および中表紙(論文表紙)には、それぞれ論文タイトル・所属・入学年度・学籍番号・氏名を記載し、写真は中表紙の次頁の中央に貼付すること。後項の「論文の綴じ方」参照

(3) 装丁見本は、神学部・神学研究科事務室(1階)にあります。必ず参考にしてください。

なお、レバーファイルは、生協で販売しています。

### 3. 修士修了総合試験

- ① 修士修了総合試験の個別の試験時間については提出締切日以降にお知らせします。
- ② 当日は、論文やメモ、聖書など持ち込み可です。
- ③ 修士修了総合試験終了後に、以下のもの(詳細は総合試験当日お知らせ)を神学部・神学研究科事務室(1階)へ提出すること。なお、提出した修士論文3部のうち2部は製本(1部は論文提出者へお渡し、1部は神学部図書室に配架)し、残りの1部は製本せず神学研究科にて保管します。

- ・修正済み製本用修士論文3部・・・修士修了総合試験で指摘のあった部分を訂正し、  
主指導教員の提出許可を得た上で穴を開けていない状態の完全版を提出
- ・修士論文製本代納入済証・・・製本代5,720円を良心館1階の証明書発行機で支払い、  
出力された納入済証を提出
- ・修士論文本文および梗概のデータ・・・MS-Word形式のデータ提出(メールにて提出)

※総合試験日当日に提出する場合は、事務室での受付は試験の時間帯のみ可能。

---

## 表紙サンプル

修士論文
マタイによる福音書第1章について —〇〇の解釈から—
同志社大学大学院 神学研究科 博士課程(前期課程) 神学専攻 聖書神学研究コース 2022年度150番※ 京都 太郎

MS明朝 フォント 16

※学生IDではなく、入学年度(20XX年度)・学籍番号(XX番)の形式で記入

例) 2022年度150番

## ■論文の綴じ方

レバーファイル表紙

修士論文

○○○○○○○○○  
(論文標題)

同志社大学大学院 神学研究科  
博士課程(前期課程) 神学専攻  
○○○○研究コース  
入学年度 学籍番号  
氏名

①梗概表紙・・・1枚目

修士論文梗概

○○○○○○○○○  
(論文標題)

同志社大学大学院 神学研究科  
博士課程(前期課程) 神学専攻  
○○○○研究コース  
入学年度 学籍番号  
氏名

②梗概・・・2枚目

(梗概)

40字×30行  
1～3ページ  
MS明朝・日本語文中の  
外国語表記はCentury  
またはTimesNewRoman  
フォントサイズ 10.5

※学生IDではなく、入学年度(20XX年度)・学籍番号(XX番)の形式で記入 例) 2022年度 150番

③中表紙・・・3枚目

修士論文

○○○○○○○○○  
(論文標題)

同志社大学大学院 神学研究科  
博士課程(前期課程) 神学専攻  
○○○○研究コース  
入学年度 学籍番号  
氏名

④写真・・・4枚目

写真：  
タテ60mm×ヨコ50mm

写真

- ・正面、上半身、脱帽、無背景
- ・最近3ヶ月以内に撮影したもの
- ・カラー、白黒を問わない

⑤目次・・・5枚目

目次

-----

-----

-----

\*梗概が2枚以上の場合は梗概の次の枚数。以下同じ

⑥本文・・・6枚目～

(本文)

40字×30行  
20～33ページ  
MS明朝・日本語文中の  
外国語表記はCentury  
またはTimesNewRoman  
フォントサイズ 10.5

- ・目次、注、参考文献、付表  
図、グラフは、枚数に含めない
- ・ここからページ数を付ける

-1-

巻末

注および参考文献、付表、  
図、グラフは巻末にまとめる  
こと。

レバーファイル裏表紙

(裏表紙)

## ■「論文」想定題 変更届

想定題を変更する場合は「想定題 変更届」を提出して下さい。神学部・神学研究科事務室(1階)で配布しています。指導教員と十分に相談の上、記入して下さい。

※研究科委員会の承認を経て変更となります。

提出締切：論文提出締切と同じ

提出先：神学部・神学研究科事務室(1階)

### 【 注 意 】

- 1.指導教員の署名をもらうこと。
- 2.黒インクで記入すること。

※提出締切日時以降の題目の変更は認められません。

神学研究科博士課程(前期課程)「論文」想定題 変更届			
提出先：神学部・神学研究科事務室(1階)			
提出日：20 年 月 日			
神学 専攻	年度	番	指導教員 サイン
氏 名			
1. 修士論文想定題			
①変更前：			
②変更後：			
2. 特定課題想定題			
①変更前：			
②変更後：			
論文提出予定日		20 年 月	

※修士論文から特定課題へ変更の場合は、修士論文の提出想定題を記入し、特定課題の欄に変更題を記入すること。

## ■指導教員・副指導教員 変更届

指導教員を変更する必要がある場合は「指導教員・副指導教員 変更届」を提出して下さい。神学部・神学研究科事務室(1階)で配布しています。指導教員と十分に相談の上、記入して下さい。 ※研究科委員会の承認を経て変更となります。

提出締切：論文提出の半年前まで

提出先：神学部・神学研究科事務室(1階)

### 【 注 意 】

- 1.新旧指導教員の署名をもらうこと。
- 2.黒インクで記入すること。
- 3.論文提出の半年前までに提出すること。

神学研究科 指導教員・副指導教員 変更届				
提出先：神学部・神学研究科事務室(1階)				
提出日： 年 月 日				
博士課程	期課程	専攻	コース	
年度 番 氏 名				
	旧指導教員名	旧指導教員サイン	→	新指導教員名
指導教員			→	
副指導教員			→	
副指導教員			→	

※ 新旧指導教員名を記入し、各教員から了承のサインをもらったうえで提出してください。変更しない指導教員を記入する必要はありません。新指導教員は神学研究科委員会の承認で確定します。

年 月 日 受付	年 月 日 承認
----------	----------



# 2023 年度 修士論文中間報告会の開催について

以下の通り 2023 年度修士論文中間報告会を開催します。

発表者以外の方も是非ご覧ください。

- 日 時 : 2023 年 9 月 20 日 (水)
- 場 所 : クラーク・チャペル (公開で行います)
- 発表者 : 2024 年 3 月修了を希望する者
- 発表時間 : 1 人 15 分以内 (口頭発表 10 分、質疑応答 5 分)

※発表方法についての注意点 パワーポイントを使用した発表は不可です。

## <発表者は必ず確認してください> 提出要領 参照

### 1. 修士論文中間報告会申込書の提出について (全員必須)

「修士論文中間報告会申込書」を提出してください。申込書には当日の発表題も明記すること。

※主指導教員と十分に相談の上、手続きを行ってください。

★なお、授業期間外の開催となるため、基本的には時間帯に関する申し出はできません。万が一、やむを得ない事情により不都合な時間帯がある場合には、神学部・神学研究科事務室 (1階) までご相談ください。

提出締切: 7月13日(木) 17時【厳守】      提出先: 神学部・神学研究科事務室(1階)

### 2. 中間報告書(要旨)のメール提出について

A4判(横書き)のPDFファイルを提出…1ページ(1,000字程度)にまとめること。

\*冒頭に発表題、コース、学生ID、氏名を明記。

▼下記メール件名およびファイル名にて神学部・神学研究科事務室宛にメールで提出

◆送信先メールアドレス: [ji-sinjm@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-sinjm@mail.doshisha.ac.jp)

・メール件名 「修士論文中間報告書(全角スペース)学生ID(全角スペース)氏名」

・ファイル名 「修士論文中間報告書(全角スペース)学生ID(全角スペース)氏名.pdf」

★なお、中間報告書(要旨)については、前期課程の院生全員へ公開予定です。

提出締切: 9月14日(木) 17時【厳守】

提出先: 神学部・神学研究科事務室へメールにてデータ提出

申請書や変更届などを提出する際には、  
各ページをコピーまたは切り取って使用して下さい。

## 修士論文中間報告会申込書

修士論文中間報告会開催日  
2023年9月20日（水）

学生ID \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

主指導教員 \_\_\_\_\_ 先生

★主指導教員に相談済み  チェック欄

※主指導教員と十分に相談の上、手続きを行ってください

### ●中間報告会では発表題を公開します。

当日の発表題（以前提出した想定題と同じ場合も記載すること）

提出先：神学部・神学研究科事務室（1階）  
提出締切：2023年7月13日（木）17時厳守

※なお、授業期間外の開催となるため、時間帯に関する申し出はできません。  
万が一、やむを得ない事情により不都合な時間帯がある場合には、神学部・神学研究科事務室（1階）までご相談ください。

## 神学研究科博士課程（前期課程） 「論文」想定題 申請書

提出締切：2023年4月28日（金）17時

提出先：神学部・神学研究科事務室（1階）

神学 専攻 _____ コース _____ 年度 _____ 番 (入学年度) (学生IDの下4桁)  氏 名
修士論文想定題：
特定課題想定題：
指導教員サイン：

※修士論文想定題と特定課題想定題は、選択する方いずれか片方のみ記入すること。

## 神学研究科博士課程（前期課程）指導教員・副指導教員 申請書

提出締切：2023年4月28日（金）17時

提出先：神学部・神学研究科事務室（1階）

神学 専攻 _____ コース _____ 年度 _____ 番 (入学年度) (学生IDの下4桁)  氏 名		
	教 員 名	サ イ ン
指導教員		
副指導教員		
副指導教員		

※副指導教員2名について必ず主指導教員に相談すること。

※他学部や学外の先生に依頼する場合は、所属名も付記すること。

## 神学研究科博士課程（前期課程）「論文」想定題 変更届

提出先：神学部・神学研究科事務室（1階）

提出日：20 年 月 日

神学 専攻 氏名	年度 番	指導教員 サイン
1. 修士論文想定題		
①変更前：		
②変更後：		
2. 特定課題想定題		
①変更前：		
②変更後：		
論文提出予定日	20	年 月

※修士論文から特定課題へ変更の場合は、修士論文の提出想定題を記入し、特定課題の欄に変更題を記入すること。

# 『修士論文』提出チェック表

神学研究科 博士課程(前期課程) 神学専攻

提出日：20 年 月 日

学生ID

氏名

以下の項目に記載のとおりとなっていることを確認し、確認欄にチェックをいれること。  
また、この提出チェック表は提出書類一式に添付して提出のこと。

## 1. 提出書類と部数

提出書類		確認欄
論文 (3部)	(所定の記入方法に従って記入されている)	
論文梗概 (3部) *様式所定	(所定の記入方法に従って記入されている)	
写真 (3葉)	*様式所定	
『修士論文』提出チェック表	*本紙	

## 2. 作成方法

<b>表紙 (ファイル)</b>		確認欄
表紙をつけたレバー・ファイルに綴じて提出している。(表紙が剥がれないよう、ノリやセロテープ等を使ってしっかり貼付している)		
論文標題、所属、入学年度、学籍番号※、氏名の記載がある。(表紙サンプル参照) ※学生IDではなく、入学年度(20XX年度)学籍番号(XX番)の形式で記入(例)2022年度150番		
<b>論文標題</b>		確認欄
「論文」想定題 申請書(変更届)にて申請した題目・副題で論文を提出している。		
<b>①梗概表紙</b>		確認欄
修士論文梗概と記載された梗概表紙である。 論文標題、所属、入学年度、学籍番号※、氏名の記載がある。(表紙サンプル参照) ※学生IDではなく、入学年度(20XX年度)学籍番号(XX番)の形式で記入(例)2022年度150番		
<b>②梗概</b>		確認欄
梗概は1~3ページ以内にまとめられている。 MS明朝、フォントサイズは10.5ポイントとなっている。 日本語文中の外国語表記については、CenturyまたはTimesNewRomanで10.5ポイントを使用している。		
1ページあたり字数は、40字×30行である。		
<b>③中表紙</b>		確認欄
論文標題、所属、入学年度、学籍番号※、氏名の記載がある。(表紙サンプル参照) ※学生IDではなく、入学年度(20XX年度)学籍番号(XX番)の形式で記入(例)2022年度150番		
<b>④写真</b>		確認欄
写真：タテ60mm×ヨコ50mm を貼り付けている。 正面、上半身、脱帽、無背景・最近3ヶ月以内に撮影したもの・カラー、白黒を問わない。		

⑤目次	確認欄
各章・節のタイトルが本文に記載のタイトルと合致している。	
各章・節の後には本文と合致する頁数が入っている。(目次ページ自体には頁番号不要)	
⑥論文(本文)	確認欄
本文のみで20～33ページ以内にまとめられ、 本文はMS明朝、フォントサイズは10.5ポイントとなっている。 日本語文中の外国語表記については、CenturyまたはTimesNewRomanで10.5ポイントを使用している。	
1ページあたり字数は、40字×30行である。	
用紙はA4判白色上質紙(210mm×297mm)横書き、片面使用、左横綴じである。	
ページ番号は“1”から付与されている。 表紙、目次、注、参考文献、付表、図、グラフを本文ページ数に含めていない。(割注は本文の字数に含める)	
注および参考文献、付表、図、グラフは、巻末にまとめている。	
⑦その他	確認欄
研究主指導教員へ最終稿のデータを送付した。	
研究主指導教員へ最終稿を提示し、提出の許可を得た。	

私は本提出チェック表の全ての確認項目のとおり修士論文を提出いたします。

20 年 月 日

(署名)